

# 西牧総領事のドキュメンタリー「Vatana Giderken Heimei Maru」TRT試写会への出席(報告)

【日時】2019年4月26日(金)

【場所】トルコ国営放送(TRT)イスタンブール・ハルビエ局

- 4月26日、西牧総領事は、ハイリエ・サバシュチュオール監督のドキュメンタリー「Vatana Giderken Heimei Maru(仮訳「祖国へ向かう際-平明丸」)」のTRT試写会に出席しました。
- 同ドキュメンタリーは、第一次世界大戦後にシベリアでロシアの収容所に抑留されていたトルコ人捕虜など約1,000人を、1921年に日本の輸送船「平明丸」がウラジオストックから「祖国(トルコ)」に向け移送した史実について描いています。航海中、平明丸はエーゲ海沖でギリシャ軍に停止させられ、トルコ人捕虜の引渡しを要求されますが、「平明丸」の津村中佐はトルコ人捕虜のギリシャ軍への引渡要求を拒絶し、その後平明丸にて移送されたトルコ人はトルコに帰国しました。
- 西牧総領事は、スピーチにおいて、130年を超える日本トルコの友好関係の概要を説明するとともに、一般的にあまり知られていなかった「平明丸事件」を詳細に描いた同ドキュメンタリーによって、両国関係が一層促進されたと発言し、サバシュチュオール監督を始め関係者各位に感謝の意を表しました。



西牧総領事によるスピーチ



TRTからインタビューを受ける  
西牧総領事



試写会の様子